

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
広島市	大原地区	平成27年6月	令和元年12月20日

1 対象地区の現状

①地区内の農地面積	25.52 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の農地面積の合計	20.03 ha
③地区内における70才以上の農業者の農地面積の合計	10.25 ha
i うち後継者未定の農業者の農地面積の合計	4.11 ha
ii うち後継者について不明の農業者の農地面積の合計	1.96 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある農地面積の合計	8.42 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

地区内農地のおよそ半分がほ場整備済である。 未整備だがそれに近い状態の農地や整備済農地で、貸付け等の申し入れがあれば、中心経営体が引受けの意向である。 しかし、未整備農地は引受けが難しく、今後どうすべきかが課題である。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

ほ場整備済農地については、中心経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。
未整備農地については、ある程度の面積をまとめ、活用できるよう整備し、中心経営体、または入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することで、収益性の高い園芸作物の生産を期待することができる。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	農事組合法人 ほなみ	水稻・野菜	0.00	水稻・野菜	6.77	全体
認農法	農事組合法人 よしやま	水稻	0.32	水稻	0.78	風呂ノ元
認農	新田 泰彦	野菜	0.16	野菜	0.94	中河原ほか
認農	河野 将史	野菜	0.00	野菜	0.41	中河原
計	4 経営体		0.48 ha		8.90 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

貸付け等の意向が確認された農地は、106筆 100,611.31㎡(10.06ha)で、そのうち66筆 84,260㎡(8.42ha)は中心経営体が今後引き受ける意向がある。 貸付け等の意向がある農地所有者は、原則、機構を通じて中心経営体への貸付を進めていく。
未整備農地については、話し合い等により農地を集積することで、中心経営体、または入作を希望する認定農業者や認定新規就農者に引き受けの意向を聞く。 利用しやすい農地に整備するため、小規模農地整備事業等を活用し、収益性の高い園芸作物の生産に取り組む。

(参考) 農地の貸付け等の意向

農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
	貸付け	作業委託	売渡
大迫谷郷・大原郷・田詰・鳥井原・中河原・松ヶ迫・風呂ノ元・崎ノ師郷	93,755.31	0	6,856.00
計	93,755.31	0	6,856.00